

ワーク用エピソード

由香里さんが5歳の娘のサクラちゃんと一緒に、近くの公園に遊びに行った帰り道のことです。向かい側から、近所に住むおじいさんが歩いてきました。

由香里さんが「こんにちは。」と声をかけておじいさんとあいさつをすると、今度は、おじいさんが、サクラちゃんの方を向いて、「こんにちは。お母さんと一緒にいいね。」と声をかけました。

すると、サクラちゃんは少し恥ずかしそうにして、こくりとうなずきました。それを見ていた由香里さんが、「サクラ、『こんにちは。』でしょ。」と言ったところ、サクラちゃんは、下を見たまま「こんにちは。」とささやくような声であいさつをしました。



ワーク1 ふだんのお子さんは次の人たちに対して、あいさつをどの程度できますか（自分から進んであいさつできる、相手から言われたら普通に返事ができる、なかなかできないなど）。

<p>家族に</p>	<p>先生や保育士さんに</p>	<p>近所の人に</p>	<p>初めて会う人に</p>
------------	------------------	--------------	----------------

ワーク2 「子どもには知らない人とはあいさつさせない」という考え方があります。この考え方に対してどう思いますか。



ワーク3 子どもが進んであいさつできるようになるには、どんなことを心がけたらよいと思いますか。

チャレンジコーナー

子どもたちと「あいさつ俳句」
つくってみませんか？



はるのひに
みつけたつくし
こんにちは


